

クラブチャンピオンに相馬氏。4年ぶりに返り咲く。群雄割拠時代へ。

令和 8 年度のクラブチャンピオンを争うクラブ選手権決勝は 14 日、27 ホール・マッチプレーで行われ、相馬義孝氏(49)が 4 年ぶりにチャンピオンの座についた。惜しくも敗れた熊田雄大氏は 26 歳の若手で、前年チャンピオンの実力派・菊地諭史氏(33)らと `群雄割拠、の時代に入った感がある。

決勝は相馬氏と熊田氏の間で 27 ホールのマッチプレーで争われた。相馬氏は準々決勝を 8-7 と相手を突き放し、準決勝も 3-2 と順当に勝って決勝に進んだ。熊田氏は準々決勝、準決勝とも 5-4 と好調をうかがわせる戦いを見せた。

決勝は内外の大会で好成績を残し、`クラブの顔、ともいえる相馬氏に、熊田氏が食い下がる様相で、一進一退のゲームとなった。しかし、実績のある相馬氏が手堅くリードを守り、24 ホールで 5-4 決着をつけた。熊田氏は矢板・アローエースCCがパブリック化したのに伴い、塩カンのメンバーとなって初の選手権で今後が期待される。

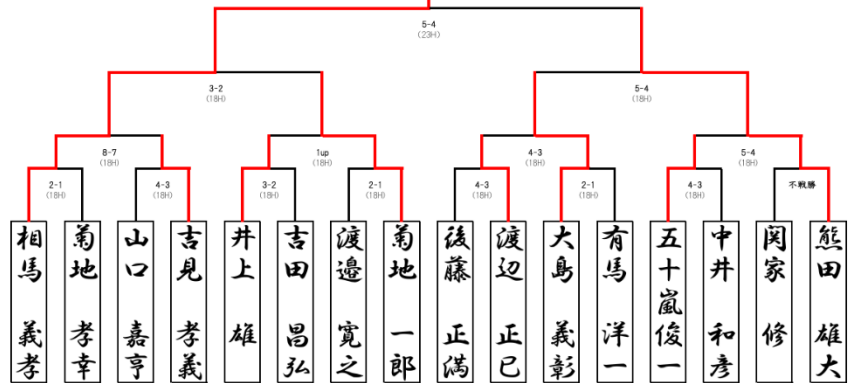
相馬氏には試合終了後、緑川文雄キャプテンからクラブチャンピオン杯が授与された。相馬氏は「有望な若手が伸びてきており、チャンピオンの座は厳しくなって来たが、これからも研鑽を摘み、この座を堅持してゆきたい」と話していた。熊田氏も「相馬さんとのマッチプレーの体験を生かして、来年のクラチャンを目指します」と闘志をみせていた。

緑川キャプテンからは相馬氏へ「後輩たちへよきアドバイスを」と、また、惜しくも敗れた参加者には「先輩達からよく学んで塩原カントリークラブを盛り上げて欲しい」と総括の言葉が贈られた。



令和8年 クラブ選手権

優勝 相馬 義孝



メダリスト 相馬 義孝 114 (27H)



関東倶楽部対抗選手権は 22 位。

関東倶楽部対抗競技の決勝が 6 月 9 日、千葉・鶴舞カントリークラブで皆済された。県代表として塩カンチームが出場したが、出場 42 チーム中 22 位だった。

国体レガシーに県外参加者 30%超え。

～第 4 回ダブルスゴルフチャレンジカップ～

第四回目を迎えたダブルスゴルフチャレンジカップは、6 月 4 日、台風 6 号接近のあおりを受けて、クローズ同然だった前日とうって変わった好天に恵まれて開催された。

グロス、ネットの部とも定員の 50 組(200 人)が参加、南、北コースを使って熱戦を繰り広げた。女性の参加も年々増えて、グロスの部に 5 人、ネットの部に 10 人が力強いプレーをみせていた。

大会を主催した那須塩原市ソーリズム推進課によると、参加者のうち 70%が市外からで、県外からの参加者も 37%にのぼった。同課では今年はSNSなどを通じて参加勧誘に力を入れたせいもあるが、国体開催のレガシーとしてゴルフファンに浸透していると手応えを感じている。

プレーは 18 ホールストロークで、二人ひと組のうち、各ホールとも上位のスコアの合計で争われ、以下の成績が決まった。

▽ グロスの部

優勝 添田修司・角田里子 68
準優勝 薄井真悟・石井淳二 69
3 位 菊地諭史・山田俊明 69

▽ ネットの部

優勝 百目鬼洋平・糸井直子 78
準優勝 菅原正悟・安藤晴人 78
3 位 有格克司・藤田一男 75





5月末から稼働。更衣室にエアコン。

5月から全国的に夏日が連発して、今年も酷暑のなる様相が高まっているが、塩カンでは男女の更衣室に新たに導入したエアコンが5月末から稼働している。

今年度から年会費が正会員5,000-、法人会員10,000-、平日会員3,000-それぞれ引き上げられた。引き上げの可否を議論する中で、昨今の経済情勢だけでなく、クラブハウスの環境改善への配慮も怠らないという意見が出されていたが、エアコン導入もそれを受けた対応だ。

プレーヤーの年齢も年々高くなり、女性ゴルファーの数も増えており、熱中症など万一の事故を事前に予防するためにも効果が期待出来そうだ。

舟岡さん念願の初優勝。県シニアゴルフ選手権。

第23回県シニアゴルフ選手権が18日、鹿沼CCで開かれ、舟岡誠さんが3アンダーの69の好スコアで優勝した。舟岡さんは昨年の知事盃グランドシニアの部で準優勝していた。

70歳以上の62人が決勝に進み、舟岡さんは前半36と5人で並んだが、後半5アンダーと抜け出し、栄冠をつかんだ。

試合後、「優勝の味は格別です」と喜びを話していた。

舟岡(那須) 初優勝 グランド

鹿沼の鹿沼CC(6944)で18日、第23回県シニアゴルフ選手権が開幕した。70歳以上の62人が決勝に進み、舟岡誠(那須)が3アンダーの69で優勝した。

舟岡は昨年の知事盃グランドシニアの部で準優勝していた。試合後、「優勝の味は格別です」と喜びを話していた。

ミス吹き飛ばす 爆発力を発揮

二打のミスは飛ばした。舟岡は前半36と5人で並んだが、後半5アンダーと抜け出し、栄冠をつかんだ。

知事盃ゴルフ

知事盃ゴルフは、17日、鹿沼CCで開幕した。優勝は、那須川...



塩原・11湯の四季⑥

【水無月(みなつき)】

学童疎開その1 ～こだまする児童の歓声～

高原 泉

太平洋戦争の末期、1942(昭和17)年4月18日、米軍B-29爆撃機・ドーリットルが東京などに襲来した。初めての本土空襲だった。それでも、1944(昭和19)年の秋までは散発的だった。B-29はインド北部、中国の成都周辺の基地から発進せざるを得ず、補給が難しく作戦効率が悪かったからだった。空襲が増えるにつれ、東條英機内閣は子供の安全確保が国家的課題として、6月30日、「疎開促進に関する閣議決定」に踏み切る。学童の集団疎開、工場、都市住民の縁故疎開を進める大号令だ。

塩原温泉郷に集団疎開地としての白羽の矢が立つ。空襲の目標となる大工場、軍事施設が周辺になく、那須のヶ原の農家など、食料の調達が可能。そして、戦前から転地療養地として実績があることなどからだった。東京市芝区、本郷区、日本橋区、横浜、川崎の小中学校児童に割り当てられた。満寿家、和泉屋、一力館、大出館、松屋、明賀屋本館、ゑびすや旅館などで、一つの小学校が複数の旅館に分宿した。

満寿家には8月25日から翌日にかけて、本郷区立根津学校の児童359人と教職員32人が入った。客室や大広間は寝室兼教室となり、毛布や布団を並べての集団生活となった。旅行気分が抜けない子もいたりして、寝起きの姿は雑然そのものだった。

温泉旅館であっても、戦時下の食料不足は深刻で、食料を求めて再疎開の例もあった。それでも、温泉郷全体では1944年と翌年の2年間で4200人を受け入れた記録が残る。

児童たちの毎日は、6時半起床、洗顔、清掃、布団の片づけ、朝礼、ラジオ体操で始まった。朝食は白飯又は麦飯、小皿の野菜の漬け物、味噌汁。午前の授業は旅館の広間、客室を教室にして、国語、算数などの主要科目。地元の児童と合同のこともある。

昼休みには川遊び、散歩、雑草取りの手伝いをする子もいた。温泉郷の溪流には子供たちの歓声がこだまする日々だった。午後は自習時間で16時になると入浴だ。旅館の大浴場とはいえ混雑を極める。野菜の煮物をおかず白飯の夕食。18時には布団を敷き、20時には雑魚寝の床に就く。日曜日は川や山で遊び、地元の児童との交流もあった。

1945(昭和20)年3月10日夜から翌日未明にかけての東京大空襲。襲来の爆撃機334機。発進基地はマリアナ諸島のサイパン島だった。夜間、焼夷弾を併用した絨毯爆撃だった。下町の木造密集住宅が目標で、いわゆる焦土作戦である。

密集した木造家屋に燃え広がり、猛烈な火災旋風を巻き起こし、26万人分の住宅が焼け、10万人が死に、10万人が傷を負い、被災者は100万人を超えた。浅草、日本橋、京橋は壊滅した。

最も長い児童で、親元を離れて1年2ヶ月もの疎開生活を送った子が何人もいた。疎開の子たちが、史上最悪の都市空襲の災禍を逃れたのは確かである。約5ヶ月後、温泉郷や近在の農家の人たちが見送りの手を振る中、はしゃぎながら東京に帰った。





【中里鉄也の目・Q&A】

Q : バンカーが苦手です。

ゴルフ場により砂が多いところや少ないところがありますが、どんな事に気を付ければ良いでしょうか？

A : バンカーは砂の量によってショットなどが左右されるので、説明します。

●砂が「多い」とき(ふかふかの状態)

砂が多いと、ヘッドが深く潜りすぎてしまい、ボールが飛ばない「ザックリ」のミスが起きやすくなります。

*打ち方のコツ

- ・フェースをしっかり開く : バンス(ソールの出っ張り)を使い、ヘッドが砂に潜りすぎないようにします。
- ・少し強めに振る : 砂の抵抗が大きいので、パワーが砂に吸収されます。イメージより1番手分強く振る感覚がちょうど良いです。
- ・打ち込みすぎない : 上からドスンと打つと砂に埋まって終わります。ボールの手前からヘッドを滑らせるイメージを持ちましょう。
- ・注意点 : 砂の抵抗でフェースが返りやすいため、意識的にオープンスタンスを保ち、最後まで振り切ることが大切です。

●砂が「少ない」とき(カチカチの状態)

砂が薄いと、ウェッジのバンスが地面に跳ね返されてしまい、ボールの赤道に刃が当たる「ホームラン」のミスが怖くなります。

*打ち方のコツ

- ・フェースをあまり開かない : 開きすぎるとバンスが跳ねやすくなります。スクエアに近い状態で構え、リーディングエッジ(刃)から入れる意識を持ちます。
- ・クリーンに打つイメージ : 砂を爆発させるというより、ボールのすぐ下の砂を「薄く削ぎ取る」感覚です。
- ・重力に任せる : 力むとヘッドが跳ねます。リラックスして、ヘッドの重みで落とすように打ちます。

※足場を固める際に、足の裏で砂の厚みを確認する癖をつけましょう。

足が深く沈むなら「砂が多い」

足がすぐ止まり、地面が硬いと感じるなら「砂が少ない」

これだけで、打つ前の心の準備とアドレスが劇的に変わりますよ。



編集後記

サッカーのワールドカップが始まった。我らが代表の侍ジャパンは6月15日に予選リーグの初戦で、格上のオランダとドローに持ち込み、勝ち点1をもぎ取り、幸先のいいスタートを切った。日本時間で早朝5時の試合開始で、眠い目を擦ってチャンネルを合わせたかいたがあった。野球のWBCはネット以外のテレビ中継はなかった。各地のパブリックビューイングや東京・澁谷の交差点での若者達の熱狂ぶりを見ていると、野球はサッカーに完全に食われた。もっとも、侍の26人のうち23人はヨーロッパのプロチームで活躍しているという。ここでも野球は形無しだ。

井上安正

